

所属	リハビリテーション学研究科 リハビリテーション学専攻 修士課程	修了年度	2021 年度
氏名	照井 林陽	指導教員 (主査)	會田 玉美

論文題目	産業精神保健における精神科作業療法士の役割の検討
------	--------------------------

本文概要	
<p>本研究の目的は、産業精神保健の1次予防における作業療法士の役割を明らかにすることである。産業精神保健の1次予防に関する実践経験をもつ研究対象者にインタビュー調査を行い、回答データをBerelsonの内容分析に準拠し、分析を行った。その結果、産業精神保健の1次予防における作業療法士の役割は、【1.精神・心理面への働きかけ】、【2.労働者を取り巻く人的・物的環境への働きかけ】、【3.メンタルヘルスや障害に関する啓蒙・研修】、【4.活動に焦点をあてた働きかけ】、【5.対象者のアセスメント】、【6.周辺領域の知識・技術に基づく対応】、【7.心身両面を重要視した働きかけ】、【8.専門知識・技術を総動員した実践】の8カテゴリが生成された。カテゴリの信頼性は、カテゴリ分類の一致率として$\kappa = 0.716$であった。</p> <p>本研究により、【1.精神・心理面への働きかけ】と【2.労働者を取り巻く人的・物的環境への働きかけ】の役割の記録単位が同数で最も多く、次いで【3.メンタルヘルスや障害に関する啓蒙・研修】が多い結果となった。作業療法士が精神・心理面における問題を抱えた労働者に対する専門職の一員として産業精神保健に参入していること、そのうえで労働者本人だけではなく本人を取り巻く環境や作業にも焦点を当てた支援を行う役割を担っていることが考えられた。産業精神保健における作業療法士の役割には、効果的な作業の進め方や休憩、休息のとり方の支援、役割活動や趣味活動への支援、キャリアや人生目標を叶えるための目標設定と具体的な作業を見つけることの支援、仕事の仕方や作業環境の調整、運動習慣や休憩時間及び休日の過ごし方やレクリエーションなどの福利厚生サービスについても企業に提案することなども含むと考えられる。</p> <p>本研究は、これまで国内外の先行研究からも明らかにされていなかった産業精神保健の1次予防における作業療法士の役割や同領域に参入するうえでの方向性を検討するための示唆を与えるものと考えられる。</p>	